

令和2年度 定数・機構編成のポイント

引き続き、北海道胆振東部地震による被害の復旧と震災を教訓とした災害対策を進めるとともに、「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2019」に掲げる重要施策に取り組むため、より効果的・効率的な組織体制を構築

●災害対応

▽震災被害からの復旧 《建）土木部》

- ・清田区里塚地区のほか、美しが丘地区や豊平区月寒東地区などにおける対策工事を推進するため、平成31年2月に設置した市街地復旧推進室の体制を強化（+1）

▽震災を教訓とした災害対策 《危）危機管理対策部、都）市街地整備部》

- ・災害発生時、迅速に対応できるよう災害対策システムを構築するほか、大規模盛土造成地における調査優先度の検討などを行うため、各部に増員（+2）

●「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2019」に掲げる重要施策に関する取組

【住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり】

▽受動喫煙対策 《保）保健所》

- ・改正健康増進法に基づく受動喫煙対策等の取組を強化するため、たばこ対策担当係に増員（+1）

【全ての市民の活躍を応援するまちづくり】

▽子育て支援事業の推進 《子）子育て支援部》

- ・安心して働ける環境づくりに向け、子育て支援事業を更に推進するための体制を整備（+1）

【子どもを健やかに育てるまちづくり】

▽児童相談所、区健康・子ども課における相談支援体制の強化 《子）児童相談所、区）保健福祉部》

- ・虐待等の複雑な相談の増加に対応するため、児童相談所の職員を増員（+9）する他、特定妊婦への対応等、支援を必要とする家庭への組織的支援を拡充するため、家庭児童相談室の体制を強化（+6）
- ※このほか、令和元年度途中で増員した職員など（非常勤職員含む）も合わせると40名の増員となる
- ※また、児童相談所に区健康・子ども課長兼務の「区地域連携担当課長」を新設し、連携強化を図る

【人材を育み成長を続ける躍動のまちづくり】

▽北海道新幹線推進事業 《政）総合交通計画部》

- ・北海道新幹線の札幌開業の早期実現に向け、新幹線推進室に増員（+3）

【将来を見据えた魅力と活力にあふれるまちづくり】

▽東京2020オリンピック・パラリンピックの開催準備 《ス）招致推進部》

- ・マラソン・競歩競技の札幌開催に向け、体制を強化（+17）
- ※なお、短期間での準備業務に対応するため、令和元年中に増員済み

▽冬季オリンピック・パラリンピック招致事業 《ス）招致推進部》

- ・冬季オリンピック・パラリンピックの招致活動を推進するため、招致推進部に増員（+6）

●重要施策を支える行財政運営の取組

▽行政改革の推進 《総）改革推進室》

- ・業務の効率化・生産性向上、市民サービスの充実を図ることを目的とした「業務の見える化」等を推進するため、改革推進室の体制を強化（+1）

▽業務の見直し等に伴う減員 《保）障がい保健福祉部、交）高速電車部 など》

- ・コスト縮減やサービスアップ等の観点から、みかほ整肢園（△18）へ指定管理、軌道事業（△93）へ上下分離を導入するなど、業務の見直しを実施

令和元年度職員定数 22,133 人 ⇒ 令和2年度職員定数 22,107 人